

Newsletter: 日本音韻論学会 (PhSJ)

第 24 巻第 2 号 (通巻 70 号)

2020 年 8 月 14 日

2020 年度春期研究発表会報告

去る 6 月 19 日 (金)、2020 年度春期研究発表会がオンラインにて開催されました。一般研究発表 4 件および質疑応答が行われ、参加者は全体で 82 名でした。

オンラインでの開催は本学会では初の試みでしたが、有意義な発表および質疑応答が行われました。開催に際して、ご尽力いただいた関係者の皆様に、改めてお礼申し上げます。

第 24 回会員総会報告

6 月 19 日の春期研究発表会終了後、第 24 回会員総会が開催されました。会員総会での報告事項および審議事項は以下の通りです。

記

1. 2019 年度の活動が報告された。
2. 2019 年度会計報告および監査報告が行われ、承認された。
3. 『音韻研究』第 23 号編集について報告された。
4. 2020 年度の活動計画が承認された。

『音韻研究』第 24 号論文募集

『音韻研究』では、春期研究発表会・音韻論フォーラムでの発表原稿の他に、一般の投稿論文も募集しております。いずれの 카테고리 も投稿者の名前を伏せて審査され、掲載の採否が決定されます。会員の皆様の積極的な投稿をお願いいたします。投稿方法は以下のとおりです。

記

- ・投稿方法：Microsoft Word で作成したファイルとそれを PDF ファイルにしたもの各 1 通、さらにそれぞれのファイルから氏名・所属・謝辞などを削除したもの各 1 通の計 4 通を、下記の編集担当理事まで電子メールで送付する（ただし、謝辞の有無については自由とする）。ファイル名は論文タイトルとする。電子媒体で投稿不可能な場合は、事前に編集担当理事もしくは学会事務局まで連絡する。
- ・同一著者による論文の掲載は各号で 2 編以内とし、このうち筆頭著者としては 1 編とする。
- ・分量：8 頁を原則とする。
投稿先：田嶋圭一（編集担当理事）
E-mail：oninkenkyu24[AT]gmail.com
※上記[AT]の部分を変えてください。
- ・締切：2020 年 10 月 31 日 (土) 必着
- ・書式の詳細については学会ホームページ、あるいは、『音韻研究』最新号の巻末に記載された執筆要領をご覧ください。

- ・投稿全般に関する問合わせは、編集担当理事までお願いいたします。書式を守っていない、あるいは期限に間に合わない応募原稿は無効となりますので、くれぐれもご注意ください。

音韻論フォーラム 2020 開催

音韻論フォーラム 2020 がオンラインにて下記の通り開催されます。海外研究者による基調講演 4 件 (Bryan Gick 氏、Jennifer Smith 氏、Minji Kang 氏、Inkie Chung 氏、Young Hwang 氏)、学位取得者講演 2 件 (橋本大樹氏、植田尚樹氏)、一般研究発表 11 件と、充実した内容になっております。また、オンライン授業をテーマとしたシンポジウム (安藤博文氏によるゲスト講演 1 件および一般発表 3 件を含む) も開催いたします。

日時：2020 年 8 月 28 日(金) 13:00～30 日(日) 16:25
形式：Zoom によるオンライン開催
参加費：無料

詳細につきましては、別紙プログラムまたは学会ウェブページ (<http://www.phsj.jp/meetings.html>) をご覧ください。

会員の皆様の参加方法につきましては、後日メールもしくは郵便にてお知らせいたします。

非会員の方で参加をご希望の方は、事前に以下の登録フォームからお申し込みください。
<https://forms.gle/Nq4cWFSWeLZEB2k19>

『音韻研究』第 23 号の送付について

新型コロナウイルス感染症流行のため、送付を延期しておりました『音韻研究』第 23 号について、7 月中に送付の手配を行いました。2019 年度会費をお支払いいただいた皆様には、すでにお手元に届いたかと存じます。会費をお支払いいただいたにも関わらず、お受け取りになっていない場合は、事務局会計担当までお知らせください。

旅費の補助について

本学会では、若手研究者への支援を目的として、研究発表会やフォーラムの遠隔地からの発表者かつ、非有職者 (学生や非常勤講師等) の会員を対象に旅費の補助を行います (一人上限：国内 2 万円、海外 5 万円)。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。該当される方は奮って研究発表会ならびにフォーラムの発表にご応募下さい。

『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入できます。また、本学会の前身である音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』（1996）および『現代音韻論の動向：日本音韻論学会 20 周年記念論文集』（2016）についても、特別価格で購入できます。ともに、ご自身で直接開拓社にお申し込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出版物と振込用紙が送られることになっております。詳しくは、開拓社にお問い合わせ下さい。

開拓社『音韻研究』係
〒113-0023 東京都文京区向丘 1-5-2 水上ビル 4F
電話：03-5842-8900 Fax：03-5842-5560
<http://www.kaitakusha.co.jp>

『音韻研究』定期購読のお願い

学会からの配布のほか、勤務校の研究室・図書館などに、もう 1 冊、研究費等による『音韻研究』の定期購読をお願いいたします。

会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

本ニューズレターをお送りした E-mail 末尾、もしくは封筒の宛名下にある数字を参考にして、会費を納入願います。印字された数字のうち 9, 0 は、それぞれ 2019, 2020 の各年度の会費が未納であることを意味します。アスタリスクは会費納入済みであることを意味します。括弧付きの数字はその年度の会費が不足していることを意味します。また、t は thousand の意味で、[5t] とあれば 5,000 円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「*0[5t]」と印字されていれば、2020 年度の会費が未納であり、その総額が 5,000 円であることを意味します。

年度にかかわらず未納分の会費が納入され次第、当該年度の『音韻研究』を無料で送付しています。

記載をご確認の上、未納の会費を以下の郵便振り込みもしくは学会会場にて納入していただきますよう、お願いいたします。

郵便振込：
口座番号：00180-6-402077
加入者名：日本音韻論学会
他行からの振込先：ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキウ）店（019） 当座 0402077

年会費：維持会員： 10,000 円
一般会員： 5,000 円
学生会員： 4,000 円

「維持会員」は、本会を格別に支援して下さる会員です。年会費 1 万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。ご検討、ご協力をお願い申し上げます。

住所等変更通知と確認のお願い

会員情報（住所、所属、連絡先）が変更になった場合は、必ず**事務局会計・渡部**にご連絡下さい（学生会員から一般会員へと身分変更となった場合も必ずお知らせ下さい。また、Eメールアドレスも常時使用のものをお知らせ下さい）。連絡されないままにされますと、ニューズレターや『音韻研究』などの配布物が正しく配送されませんので、くれぐれもご注意のほどお願いいたします。

日本音韻論学会事務局

【事務局長（学会所在地）】
西村 康平（青山学院大学）
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25
青山学院大学国際政治経済学部
TEL：03-3409-8836（直通）
E-mail：t25318[AT]aoyamagakuin.jp

【会計担当】
渡部 直也（東京大学）
〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1
東京大学大学院総合文化研究科
言語情報科学専攻
TEL：03-5454-6376（代表）
E-mail：watabe[AT]boz.c.u-tokyo.ac.jp

【事務局補佐】
坂本 洋子（獨協医科大学）
〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880
獨協医科大学医学部 語学・人文教育部門
TEL：0282-87-2481（代表）
E-mail：y-saka[AT]dokyomed.ac.jp

※上記 [AT] の部分を@に変えてください。